

科目責任者 宗宮 朋子、リースナー・フランク、塚本 由美

授業担当者 A組：宗宮 朋子、B組：リースナー・フランク、C組：塚本 由美

■教育目的（各クラス共通）

- 1年次に学んだドイツ語の基礎知識をもう一度確認しながら、さらに発展させるため、〈読む、書く、話す、聞く〉などの総合的な実践練習を積む。
- 基本文法を復習しながら、比較的やさしい読み物やニュース記事などを正しく読みとる力を養う。
- 最近のニュースに触れ、特に医療や健康に関わるグローバルな問題などに関心を持ち、ドイツなどヨーロッパの取り組みを考える。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 基本的な語彙を増やし、構文に習熟することで、ドイツ語での平易な会話表現ができるようになる。
2. 基本文法の知識を用いて比較的長い文の構造を理解し、テキストの内容を正しく読みとる力を養う。
3. ドイツ・ヨーロッパの政治、社会、医療のかかえる問題などにも関心を持つ。
4. 将来、医療の現場で、ドイツ発の情報を入手し役立てられるような語学力を身につける。

■授業内容

A組 宗宮 朋子

この授業では、これまで学んだ文法事項をふまえながら、ドイツ語で書かれた様々なテキスト（医療関係、ドイツ文化紹介、時事ニュース、簡単な文学作品等）を読む練習をします。

全ての文法事項を一通り復習しながらテキストを読んでいけば、文章の様々なニュアンスを理解することが可能です。最終的には、学生が自分でドイツ語圏のインターネットにアクセスして、内容をあらかじめ把握できるようになることを目指します。

準備学習（予習・復習）：予習：前回の授業までに出てきた単語および文法項目を暗記しておく。／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。学期末試験の成績（90%）、出席状況および授業態度（10%）で総合評価する。

教科書：プリントを配布します。

参考書：独和辞典（電子辞書可）、1年次に使用したドイツ語の教科書

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る

B組 リースナー・フランク

前期から引き続き、後期も同じ教科書の後半7課から12課まで講読していきます。新しい語彙や表現方法を学んでステップアップしていきます。教科書は各課ごとにドイツ人の生活をテーマにしています。文法の復習をしながら、会話の練習と新たな文法知識を積み重ねていき、各テーマについて考察します。

準備学習（予習・復習）：辞書を引いてわからない単語を調べる（30分）／復習：宿題をしながら、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。（30分以上）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。【成績評価方法】期末試験（80%）、授業意欲（20%）で総合評価する。

教科書：『どんどん話そうドイツ語』 Frank Riesner, 田中雅敏 著（郁文堂）2019

参考書：独和辞典（電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可）、1年次に使用した文法の教科書は、手元に置いて参照できるようにしてください。

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る

C組 塚本 由美

引き続き様々なタイプの文章を読んで、読解力に磨きをかけます。また、習得した文法と語彙を用いて作文や会話練習を行い、表現力を高めていきます。医学や薬学に関連する記事なども取り上げますので、やや複雑な文章でも丁寧に辞書を引いて、興味深い内容が理解できる楽しさを実感してください。

準備学習（予習・復習）：予習：新しい単語を辞書で調べておく（30分）／復習：新しく学んだ構文や表現を整理して覚える（30分以上）

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】期末試験（80%）、小テスト（20%）で総合評価する。

教科書：プリントを配布します

参考書：1年次に使用した教科書と独和辞典（電子辞書可）を持ってくること

その他：履修者は、既に「ドイツ語基礎」（1単位）を取得した者に限る